

# SPECIALISTS

ビジョンセンター東京八重洲

AUG 22-23  
2026

公衆衛生医師を知らない人も。  
公衆衛生医師を希望する人も。  
公衆衛生医師を極めたい人も。  
誰もが夢中になる、2日間。



田口 将人

公衆衛生医師は、多職種連携を通じて社会全体に貢献できる、やりがいのある職務です。あなたの仕事が世の中に影響を与える可能性を秘めている。そんな醍醐味に溢れた世界の扉を、私たちと一緒に開いてみませんか？

北海道根室保健所 所長

略歴：2022年旭川医科大学医学部卒業。初期臨床研修を経て2024年4月に北海道に入庁。北海道岩見沢保健所で医師・主任技師の職を経て、2026年4月から現所属。



栗林 睦子

臨床から転職し、最初は戸惑うことも多かったですが、たくさんの先輩方と出会い、つながりに支えられています。皆さんと一緒にいろんなことを学べるのを楽しみにしています！

姫路市保健所健康課・  
こどもの未来健康支援センター 主幹

略歴：2018年岡山大学医学部卒業。臨床研修後、小児科医としての勤務を経て2024年10月に姫路市入庁。母子保健を中心に中核市保健所の業務に携わっている。



菊地 省大

みんなと違う道に進むのは勇気がいることですが、仲間がいるとわかると、その気持ちは大きく変わるかもしれません。ぜひみんなで期待も不安も分かち合いましょう！ご参加お待ちしております。

東京都保健医療局防疫課 課長代理

略歴：2022年筑波大学医学群医学類卒業。埼玉県内での初期臨床研修終了後、2024年に公衆衛生医師として東京都に入職。墨田区保健所、東京都健康安全研究センターでの勤務を経て、2026年より現所属に配属。



高橋 宗康

公衆衛生医師のキャリアには、実はさまざまな道があります！少し寄り道の多い私の経験から、人生の選択肢の広さや、人との出会いが次の扉につながる面白さをお話します。

帝京大学公衆衛生学研究科 教授

略歴：2005年岩手医科大学卒業。沖縄県で研修後、岩手県で地域医療と疫学研究に従事。研究留学を経て、2020年より岩手県庁、厚生労働省、保健所で公衆衛生行政に携わる。2024年10月より現職。



遠田 耕平

途上国の公衆衛生の柱は保健所、その中心は今も予防接種です。公衆衛生を何も知らない僕が手探りで患者を追跡し対策を練る日々。公衆衛生って何？答えはフィールド？しばし僕と歩いてみましょう。

秋田赤十字病院 予防接種センター長

略歴：1983年に秋田大学医学部卒業。消化器外科研修ののち、病理学博士号を取得。1991年にロンドン大学熱帯医学校（LSHTM）修士課程を修了。1993年から2018年まで25年間WHOの予防接種担当医務官としてインド、ベトナム、カンボジアなどでポリオ根絶、麻疹風疹制圧などに従事。



矢田 明子

地域の健康は制度だけでなく、暮らしのそばで、人と人との関係性の中で育まれると考えています。皆さんと、新しい公衆衛生の可能性を考えられることを楽しみにしています。

株式会社CNC 代表取締役

略歴：島根県出雲市出身。2017年に株式会社CNCを設立。「人とつながり、まちを元気にする」を掲げ、全国でコミュニティナーシングを担う人材育成、企業・自治体との社会実装、実践と研究開発に取り組む。

## 運営委員長 服部 早苗 茨城県筑西保健所 所長

略歴：筑波大学医学専門学群卒業。産婦人科医として臨床に携わる中、公衆衛生的なアプローチの必要性に気づき、2020年9月に茨城県庁に入庁。県庁ではコロナ対策チームに従事し、2024年4月より現所属。



私もこのサマーセミナーで公衆衛生の魅力に触れ、「こんな世界があるのか！」と強く心を動かされました。その出会いや衝撃が今の進路や仕事につながっています。皆さんにも体感してもらえたら嬉しいです。